

RS ウイルス感染症

【RS ウイルス感染症とは】

RS ウイルス (RSV) による呼吸器感染症です。2歳までにほとんどの子どもが一度はかかるといわれています。

【症状】

鼻みずや鼻づまりなど軽い風邪様の症状から、重い肺炎まで様々です。
初めてかかった場合は、重くなりやすいといわれており、特に乳児期には注意が必要です。
発熱やゼーゼーする咳込みがひどくなり、呼吸困難を起こすこともあります。
中耳炎を合併しやすいことも特徴の1つです。

【治療】

現在、RSV には特効薬はありません。症状に応じた治療とホームケアを心がけましょう。

- 1, 発熱・・・クーリング、解熱薬の使用
- 2, 咳・ゼーゼー・・・咳止め、ゼーゼー止めの薬の使用
- 3, 食欲（哺乳力）の低下・・・こまめな水分と糖分の補給

【家庭で気をつけること】

咳込みによって腹圧がかかり、嘔吐しやすいので、母乳やミルクは1度にたくさんではなく、少量ずつこまめに与えましょう。水分も同じです。

タバコの煙や冷たい空気はゼーゼーをひどくするので避けましょう。

熱がなければ、入浴してもかまいません。

加湿器を使用したり、洗濯物を部屋干しして、部屋を加湿すると良いでしょう。

学校や幼稚園・保育所に届出てください。感染力が強いため、医師の許可が出てから再登校・再登園しましょう。

【こんな時にはもう一度診察を】

高熱が続き、咳込みがひどく元気がないとき。

咳込みがひどく眠れないとき。

※お具合の悪いときは、午前中の早い時間に受診してくださいね。



たはらクリニック
TEL 083-923-3415